(2022.12)
(情報公開文章用)

作成日　2026 年 6 月 15 日
第 2 版作成

2010 年 1 月 1 日～2026 年 5 月 31 日の間に
当科において膀胱全摘除術を受けられた方へ

―「膀胱全摘除術の治療成績の検討」へのご協力のお願い―

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者　**川崎医科大学　泌尿器科学　講師　　杉山　星哲**
研究分担者　**川崎医科大学　泌尿器科学　大学院生　新川　平馬**

１．研究の概要

膀胱全摘除術の術式の変遷は、開腹手術からはじまり、腹腔鏡手術を経て、現在ではロボット支援腹腔鏡手術で行われている。当院ではこれまで、腹腔鏡手術は開腹手術と比較して、遜色ない成績を示した。今回は、ロボット支援腹腔鏡手術の成績を比較検討する。

２．研究の方法

1）研究対象者

2010 年 1 月 1 日～2026 年 5 月 31 日の間に川崎医科大学附属病院の泌尿器科において膀胱全摘除術を受けられた方、約 200 名を研究対象とします。

2）研究期間

倫理委員会承認日～2029 **年** 03 **月** 31 **日**

3）研究方法

2010 年 1 月 1 日～2026 年 05 月 31 日の間に当院で P 膀胱全摘除術を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに、該当する患者さんのデータを選び、患者背景(年齢、性別、家族歴、既往歴)と手術成績(治療内容、血液検査、画像所見、病理組織所見)についての関連性を調べます。

4）使用する情報の種類

診療記録から抽出する;年齢、性別、家族歴、既往歴
手術所見、治療内容、血液検査結果、画像所見、病理組織所見
統計手法;各情報を診療録から取得･集計し、集計結果の分布に合わせて、統計学的手法を適宜用いて検討する

5）情報の保存と二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から 5 年間、総合医療センター泌尿器科学医局で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。収集したデータの二次利用は致しません。

6）研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2027 年 11 月 30 日までに下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

＜問い合わせ・連絡先＞

川崎医科大学附属病院　泌尿器科
氏名：杉山　星哲
電話：086-462-1111　内線 44105（平日：8 時 30 分～17 時 30 分）
ファックス：086-463-4747

３．資金と利益相反

本研究において、学内研究費を使用いたします。研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。